

## 地域課題の解決に向けた取組

# 低コストで効率的な造林作業の民有林実践・連携

日高南部森林管理署

### はじめに

当署管内は、北海道の中央南西部に位置する日高流域の南部で新冠町、新ひだか町、浦河町、えりも町の4町にまたがる国有林約13万ヘクタールを管理しています。

管内には、日高山脈が南北に走り、百名山の一つ幌尻岳、二百名山のペテガリ岳、三百名山の神威岳など1500mを超える高峰がたつらなっています。

また、森林の一部は優れた自然環境及び自然景観を有し、日高山脈襟裳国定公園、日高山脈森林生態系保護地域や北海道のすぐれた自然地域等の指定地域となっています。

### 低コストで効率的な造林作業

一方、人工林では、今後森林資源の積極的な循環利用が進み、伐採後の更新面積は増加することが想定され、地

域の森林・林業関係者の更なる造林・保育コストの縮減に向けた取組が不可欠なことから、国有林でも造林作業の省力化及び経費の縮減に鋭意取り組んでいます。

### ① 無地拵試験地の設定

令和元年度より造林経費削減の可能性を検証するために、一貫作業システムで誘導伐を行った箇所に、地拵を行わず枝条を存置したままの状態の植栽試験地を設定し、コンテナ苗(グイマツ雑種F1)を低密度で植栽しました。



コンテナ苗の植栽試験

令和2年度に对照地を設定し、試験地及び对照地で植

生回復状況や苗木の活着状況、野鼠による被害状況等の調査を進めています。

今後も調査を継続し、無地拵による経費削減の可能性について考察していきます。

### ② 現地意見交換会

令和2年11月に日高振興局森林室や管内市町村の林務担当者、事業体及び日高北部森林管理署等の職員が参加し「低コストで効率的な造林作業の意見交換会」を実施しました。



現地意見交換会の様子

これまでの国有林で取り組んでいる大型機械地拵による造林コストの低減化、緩

効性肥料の有効性や無地拵試験地等の紹介をしました。参加者から「今後も継続してデータの収集を」などの意見を頂いています。

### 低コストで効率的な造林作業の民有林実践・連携と今後の取組

今年度も無地拵試験地の継続調査を実施し、経費削減の可能性についてデータの収集を行うこととしています。

また昨年、培土に緩効性肥料を配合したコンテナ苗を植栽し、苗木からも造林経費の縮減に繋がらないか検証を進めており、その取組を民有林(町有林)にも拡げて連携・調査を行うことを現在、調整しています。

今後これらの取組結果をあらためて地域にフィードバックしていくこととしています。